

# 一般質問通告書

No.1

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第62条第2項の規定により通告します。

平成26年8月22日

東村山市議会議長様

議席番号 7番

質問者 小町 明夫

記

番号	質問の項目と要旨
1	<p><b>今後の都市基盤整備について</b></p>
	<p>東村山駅周辺連続立体交差化事業も昨年暮れに事業認可され、市内都市基盤整備の最重要課題である鉄道による市内分断解消に向けた事業もいよいよスタートします。今回は「東村山市都市計画マスタープラン」と「東京都道路整備計画 第3次事業化計画」について以下質問致します。</p>
①	<p>東村山市都市計画マスタープランも2000年にスタートして早15年が経過しようとしている。前文にはおおむね20年後を目標としたビジョンとある。プランにある基盤整備について、現在までの取り組みと評価について伺う。</p>
②	<p>プラン作成段階では「超長期的課題」と記述してある東村山駅周辺連続立体交差は昨年末に事業認可された。まさにまちづくり、都市計画が劇的に変貌したと思うが今後の都市計画に与える影響について伺う。</p>
③	<p>広域交通処理を行う軸として都市計画道路10路線を位置付けてあるが、この15年間での進捗率を伺う</p>
④	<p>昨年度末での市内都市計画道路の進捗率と併せて西武線東西での整備率、また、三多摩平均、近隣市(清瀬・東久留米・小平・東大和)を伺う。</p>
⑤	<p>西東京市、日野市、稲城市の2000年度末と2013年度末の都市計画道路整備率を伺う。</p>
⑥	<p>スポーツセンター付近は「新たな核」を形成していくとあるが現在までの取り組みを伺う。</p>
⑦	<p>市役所周辺にある都営団地跡地について、今後の取り組みについて伺う。</p>
⑧	<p>用途地域、地区計画については特に3.4.27号線をはじめ、どのように取り組んでいくのか伺う。</p>
⑨	<p>都市計画マスタープラン策定時の広域交通の軸に位置付けた10路線と、東京都の第3次事業化計画に位置付けられた10路線は異なる路線が見受けられる。今になって言うことではないが、どのような経過でこうなったのか説明頂きたい。</p>
⑩	<p>東京都の第3次事業化計画について、都施行、市施行それぞれの進捗状況、併せて計画最終年度の平成27年度における見込みについて伺う。</p>
⑪	<p>平成28年度からは第4次事業化計画のスタートも予定されている。策定までのスケジュールを伺う。</p>
⑫	<p>第3次事業化計画の未着手路線についてはそのまま継続となるのか？それとも近隣市の計画道路の整備状況と歩調をあわせた道路ネットワークの構築を最重要課題として行くのか見解を伺う</p>
⑬	<p>都市計画マスタープラン、東京都道路整備計画第3次事業化計画について総括して伺う</p>